



2026年 3月6日 金曜日
(令和8年)

知技の創造

ものづくり大学発

▷122◁

本稿タイトルの「建築観察」がある意味の正解だからで「学」とは何か? この言葉。正解が目の前にあるのは、小生が数年前から本学でこれを観察しない手はありません。展開している授業の科目名で

せん。この授業では、建築物を構成する建築材料とそれらがどのように建築に取りついているのかを、本学の校舎を受講生が子細に観察して、最終的に図面化することをしています。では、なぜ「建築観察」なのか? 例えは大学入試の問題では、問題文が答えであることはいらないと思えますが、建築は言わば答えが見えて建っている状態と言えます。目撃や天井の中にあるため目に見えな

は倒壊してはいなければ、それ

築材料の集合体と言えます。これらを観察することによって、建築材料の成り立ちや諸物性を知るとともに、どのように施工して組み立てられているかなど、建築を成立させるための技術体系の一端を体得できる効果があります。

と、どの書籍にどの技術が書かれているのか? について、恐らく大学の建築学科において専門教育を受けてきた方々は知っている基本的な事柄すら分かりませんでした。そこで、当時の少ない給料で片っ端から専門書を購入し、読みあさりました。その結果、どの書籍にどのような技術的な答えが載っているのかの見当がつけられるようになります。見当がつかない古すぎる書籍では使わない古すぎる

技術が記載されていることに

も酔えない酒席です。現在のよにインターネットがなく、自分の足を使っ情報収集するしかなかったの

法? などについて、巻き尺に構成されているのか? 寸法によって体得した知識がいまやスケッチブックを手で測る研究活動のみならず日常業務への向き合い方を考える際にころがらあつて、山手線の車内にも大いに役立っています。建

建築観察学

大塚 秀三

建設学科 教授



乗客からの奇異な目で見られることも厭わず測ることが癖づいていました。お酒を飲みつつも、カウンターの素血となり肉となり、真の知識材や寸法などを観察していきま

おおつか・しゅうぞう 1970年生まれ。川口通正建築研究所を経て2005年ものづくり大学技能工芸学部建設技能工芸学科卒業(社会人入学1期生)。13年日本大学大学院理工学研究科博士後期課程修了(博士(工学))。18年4月より現職。専門は建築材料施工、コンクリート工学。